

長野の林業

No.
391
2024.1.10

特集

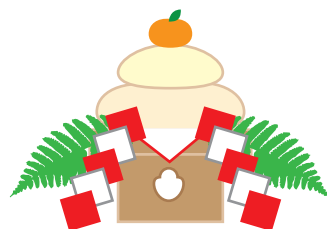
トピックス

地域の話題

県森連だより

新年のごあいさつ

- ・森林路網DX事業について
- ・スマート林業／きのこ料理コンクール
- ・松本・長野地域振興局
- ・林業大学校対抗伐木選手権



謹賀新年

令和6年 能登半島地震被災地の皆様に心からお見舞い申し上げます。



林業用運搬ドローン



大型ラジコン下刈・破碎機



オートプランタ(自動植付機)



油圧式伐採・破碎機

最新の林業機械等の活用による新たな造林技術の普及研修会

主伐・再造林の推進に向けて、現状では人力中心の重労働となっている地拵え・下刈り等の作業の省力化と労働安全の向上を図る必要があることから、令和5年11月6日(月)・7日(火)に長野県林業総合センター(塩尻市)で研修会と林業機械実演会を開催しました。役割の異なる複数の機械が実際に動く様子に、参加者からは熱い視線が注がれていました。



長野の林業
フルカラー版



中部森林管理局長

今泉 裕治



関係者一丸となつて
課題解決に取り組みを

◇新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より国有林野の管理経営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

◇新年の抱負

中部森林管理局としては、令和3年6月に閣議決定された「森林・林業基本計画」の中で打ち出された「新しい林業」の実現に向け、ICTなどの新技術の積極的な導入、伐採・造林の一貫作業システムの推進などに一層の力を入れて取り組むとともに、それらの取組の成果を民有林にも普及していきたいと考えています。

また、そうした取組と併せ、木材需要の拡大・創出や林業・森林土木分野における人材の確保・育成、シカ害をはじめとする野生鳥獣被害対策など国有林・民有林を通じた共通の課題に対し、産学官の関係者が一丸となって取り組めるよう、積極的に役割を発揮していく考えです。

◇関係者へのメッセージ

国民の皆様の共通財産とも言える森林の整備・保全を、より効率的・効果的に進めることが求められています。地域の幅広い関係者の皆様と連携しながら、長野県をはじめとする中部地域の森林・林業・木材産業、ひいては社会経済の振興・発展に貢献して参りたいと考えておりますので、皆様方の一層のご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



長野県林務部長

須藤 俊一



森林づくりで未来につなぐ
森の恵みとゆたかな暮らし

◇新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

日頃から県の森林・林業行政の推進にあたり、格別な御支援、御協力を賜り心より感謝申し上げます。

◇新年の抱負

今年は、長野県総合5か年計画及び長野県森林づくり指針が策定から2年目を迎え、各種の施策を加速化させる年となります。

特に、持続的な木材供給が可能な森林づくりのためには、県産材の需要拡大・安定供給や流通体制等の強化、主伐・再造林の推進はさることながら、林業就業者の確保・育成が重要な課題です。

このため、将来にわたり林業の担い手の確保の促進に向け、他産業からの転職や移住者、新卒者への就業支援に力を入れてまいります。併せて、木曽谷・伊那谷地域に集積している人材育成機関及び試験研究機関の連携（フォレストバレーの形成）を推進します。

また、森林空間を健康や観光など様々な分野で活用する「森林サービス産業」の創業を支援するほか、災害に強い森林づくりの推進や、ICT等の先進技術を活用した獣害対策にも取り組みます。

◇関係者へのメッセージ

森林づくりを通して、森の恵みとゆたかな暮らしを未来につないでいくため、今後とも、関係者の皆様や県民の皆様とともに、森林づくりや林業・木材産業の一層の発展に取り組んでまいります。

本年が、皆様にとって良き一年となりますことを心から祈念し、新年の御挨拶いたします。



長野県森林組合連合会
代表理事会長
藤原 忠彦



世界とつながる 地域の森林

◇新年のあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、日頃から長野県森林組合連合会及び県下18森林組合の活動にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

林業・木材産業を賑わした「ウッドショック」の熱狂もすっかり影を潜め、木材需給の先行きが不透明といった様相です。

昨年8月、県等が主導して進めてきた「信州F・POWERプロジェクト」の中核をなす征矢野建材㈱が民事再生の申請を行ったことは、県内の森林組合系統をはじめ、林業・木材産業にとっては大きな衝撃でした。森林の再生や木材産業の振興を図るというこのプロジェクトの目的が達せられるよう期待するとともに今後の展開を注視してまいります。

◇新年の抱負

4月から森林環境税の徴収が始まるほか、国の令和5年度補正予算及び令和6年度当初予算案において花粉症対策が強く打ち出されるなど森林・林業へのこれまでに無い支援が展開される予定です。森林組合系統として、人財の確保・育成と林業の労働安全衛生の改善に努力するとともに、コンプライアンスを遵守しながら森林整備を進め、木材利用の拡大と高付加価値化による循環型林業の確立を目指してまいります。

県森連としては、長野県産材の一層の利用促進と、山への還元が図られるよう努めてまいります。また、研修会や指導監査を通じて森林組合の経営力強化を支援するほか、スマート林業活用に向けた取組みを進めてまいります。

◇関係者へのメッセージ

気候変動や国際情勢に木材需給が左右される状況が続き、世界と地域の森林の繋がりを改めて実感しました。諸課題解決に向け森林組合系統一丸で尽力してまいりますので、引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、世界の社会経済情勢の安定を願うとともに、本年が林業関係業界にとって災害の無い、幸多き一年となりますよう祈念申し上げます。



長野県木材協同組合連合会
理事長
宮崎 正毅



「ウッドファースト(Wood First)」 社会の実現に向けて」

◇新年のごあいさつ

令和6年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。皆様方には、当連合会の活動に対しまして、御支援と御協力を賜っておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、物価高騰の影響による住宅着工数が減少する中であって、県産材の需要は低調で、林業・木材産業界にとっては、厳しい年であったと思います。

◇新年の抱負

「林業・木材産業は、環境と経済を両立させる力がある魅力的な産業である」と自負しています。魅力的な産業となるために意識していることは、県産材を建築事業者をはじめ、様々な皆様に使っていただくことです。

そのために、需要の拡大対策と併せて、県産材製品の品質向上や効率的な生産体制の整備に取り組むとともに、需要に応じた供給が的確に行えるサプライチェーンの構築を進めてまいります。

伐って使うことから始まる林業・木材産業の循環システムの構築に向け、県民の皆様の協力を得ながら、関係者が一丸となり取り組んでまいります。

◇関係者へのメッセージ

昨年5月に開催されたG7広島サミットにおいて、「持続可能な木材利用を促進する」ことが初めてコミニケに明記され、木を使うことの意義が国際的に合意を見ました。

これは、世界的な課題である地球沸騰化を強く意識したものと考えられ、「待ったなしでカーボンニュートラル社会を実現する」という強い意思の表れと理解するものです。改めて林業・木材産業の果たすべき役割は極めて大きいものと再認識した次第です。

業界として社会の期待に応えるためには、ウッドファースト(Wood First)社会の実現に向けて、それに対する備えと自助努力を継続し、木材が当たり前に使われる社会の実現に取り組んでまいります。

結びに、長野県の森林・林業・木材産業の発展と皆様方の御健勝と御多幸を心より御祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

森林路網DX推進事業について

はじめに

一般的に林道は、緯度経度など正確な位置情報のない台帳(紙面)で管理しているため、現地を知らない担当者は、起終点や災害時の被災位置の特定が難しい状況となっています。また、今後はICTなど新技術の開発推進により、デジタル化された森林資源情報を更に有効に活用するため、森林管理の基盤となる路網情報の整備が必要となっています。

そこで令和4年度から、より効率的な森林整備や適切な森林管理を目指して、林道のデジタルデータの収集・整備を進めています。

林道のデジタル情報 収集・整備

起終点の正確な位置、線形及び維持管理等の現況や主要なポイントを把握するため、調査車両にDG-PROアンテナ、車内には動画撮影用にGoProを搭載し、起終点は360度カメラによる撮影、林道全線は走行動画を撮影。併せて位置情報の記録と整備を進めています(図1)。

主要なポイントも位置情報を取得し、橋梁・トンネル等の重要構造物、舗装施工箇所、土場、作業道との接続点、崩落等の危険地な

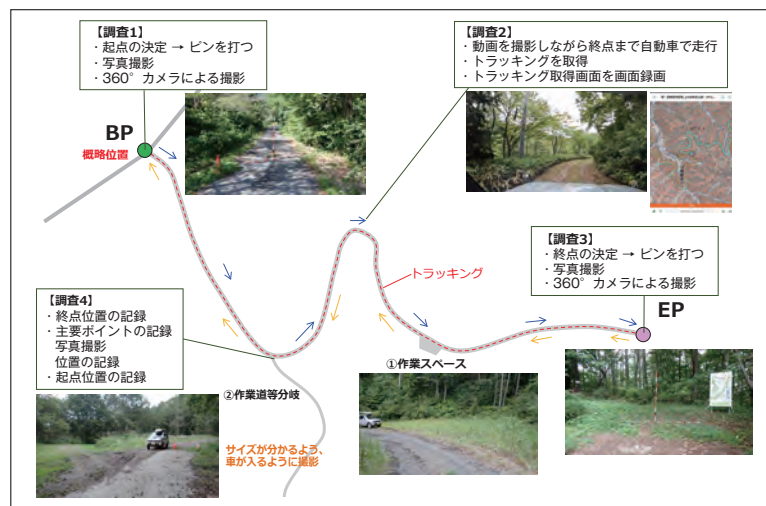


図1 現地調査方法

どに分類。更に林道に接続する国道や県道など他道路の線形データとの接続処理を行い、路網のネットワーク解析が可能なデジタル情報として整備を進めています(図2)。

事業成果の活用

林道管理では、知識や業務経験に関わらず、パソコン上で正確な位置や通行経路、重要施設の状況が確認できる点や、CS立体図に線形データを重ね合わせ要点検箇所の把握が可能となることで、管理の効率化が期待できます。

こうした活用方法習得のため、林道管理者の市町村を対象とした操作研修会を開催し、意見や要望の集約も進めています。

今後の展望

林道に加えて森林作業道データの収集も行い、路網全体の正確な配置状況の把握を進め、情報公開に向けた情報整理や収集・更新のルール作り、情報水準の統一など情報管理体制の構築に取り組みます。

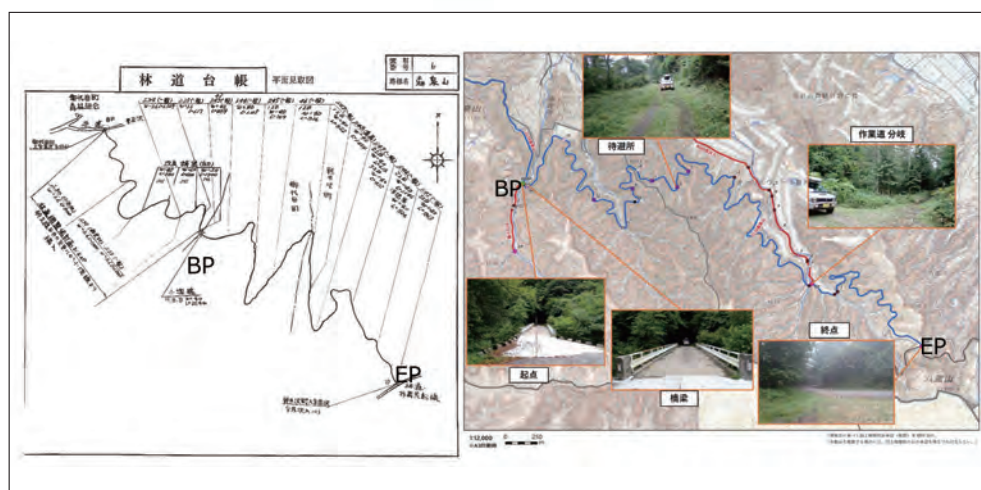


図2 同路線の既存林道台帳平面見取図(左)と本調査で作成した平面図(右)

線形データには、路線番号、路線名、林道区分、幅員、延長など林道台帳から転記した基本的な属性情報の他、現地調査日、通行可否など現地調査で得られた情報を付与して整備しています。



スマート林業技術のフル活用に向けて

近年、スマート林業技術は目覚ましい進歩を遂げ、県内でもドローンやGNSS受信機などの導入が進んでいます。最新技術を最大限に駆使する事業体がある一方で、様々な事情から、これらの技術の導入や習得が進まない事業体も見られます。

本県では、林業の生産性や安全性の向上を図るため、スマート林業技術の導入支援に加え、様々なツールを使いこなしてもらうための「スマート林業人材育成事業」を実施しています。本事業では、林業事業体や市町村等を対象に、スマート林業技術の活用事例や最新技術の紹介、操作方法の習得のための研修会を、長野県森林組合連合会への委託により開催しています。

スマート林業技術のフル活用に向け、林業事業体や市町村等から多くの方が受講されています



スマート林業技術のフル活用に向け、林業事業体や市町村等から多くの方が受講されています

令和5年度 研修計画

研修内容	時期
組織ぐるみで進めるスマート林業研修	12/5
地形から読む 林業適地・不適地ゾーニング研修	1/11-12 1/25-26
スマート林業技術導入研修（日報管理・木材検収）	2/16
GNSS測量及びQGIS基本操作研修	2/7,13,28
ドローン空撮画像による森林資源情報把握研修	2月

〈研修会に関するお問い合わせ先〉
長野県森林組合連合会 開発室
026-226-2504 / kaiatsu@naganomoriren.or.jp
長野県 林務部 信州の木活用課
026-235-7267 / ringyo@pref.nagano.lg.jp

令和5年12月5日には、「組織ぐるみで進めるスマート林業研修」を約40名が受講し、組織内での技術普及のノウハウに加え、航空レーザデータや下刈機械などの活用事例などを学びました。参加者からは「組織内の課題解決の参考になった」などの感想が聞かれました。

スマート林業技術のフル活用に向けて、今後も効果的な研修会を開催してまいります

【信州の木活用課 林業経営支援係】

長野県きのこ料理コンクールが開催されました

令和5年度長野県きのこ料理コンクールが、信州きのこ祭り推進協議会主催により開催されました。長野県が生産量日本一を誇り、自然食品、健康食品として注目されるきのこをメイン食材にした、アイデアに富む料理を募集し、優秀な作品を広く公開することにより、多くの方に美味しく食べていただくことを目的として開催するコンクールです。

本年度は応募総数48点の中から、書類審査により選抜された9名が、実演審査として実際に料理を作り審査員（学校法人石坂学園石坂健一副理事長他4名）が試食をして審査を行い、最優秀賞他4

長野県きのこ料理コンクール受賞者一覧 (敬称省略)

賞の名称	作品名	参加者
最優秀賞	夏野菜ときのこの肉巻き	高野 大地
優秀賞	揚げない！キノコと豚肉のミルフィーユ春巻き	中條 裕菜
優秀賞	しいたけと野沢菜のおやき	中村 駿斗
優秀賞	きのとり丼	荒井 美幸
優秀賞	きのこチーズのコンソメクリーム	笹森 翔太

点を選出しました。最優秀賞に輝いた高野大地さんの「夏野菜ときのこの肉巻き」は、えのきだけ、まいたけ、野菜を豚バラ肉で巻いて加熱調理を行い、塩こうじなどのたれを付けて食べる料理です。食材の美味しさを際立たせた調理や味付けにより評価の高い作品でした。

開催にあたり長野都市ガス(株)様には会場の使用など多大なる御協力をいただきました。

受賞作品のレシピは、コミュニティウェブサイト「クックパッド」長野県公式キッチンに掲載する予定です。

クックパッド
長野県公式キッチン
はこちら



最優秀賞
夏野菜ときのこの肉巻き

【信州の木活用課 林業経営支援係】

安曇野市長久保地区の地すべり対策について

平成19年5月に安曇野市長久保地区において、長さ約250m、幅約200m、面積約5ha、深さ約40mの地すべりが発生しました。地すべりの直下には小芹沢が流れており、発生した土塊が小芹沢を埋設したため、県林務部では緊急対策工事と下流集落及び国道403号への警戒のため土石流センサーを設置し、地域住民と避難体制の構築を行いました。

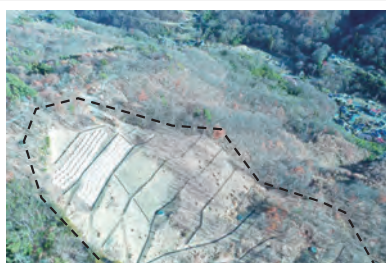
当地区は、昭和35年に地すべり防止区域に指定され、地すべりの常習地域でもあり、下方集落に被害を及ぼす恐れがあることから、管理する県林務部により地すべり防止事業を導入し、地すべり対策工事を平成20年度から実施しました。

対策工事実施中にも、再び地すべり活動による土砂の移動があり、対策工事の変更・追加をしながら、令和4年度事業を最終年度として概成(※)とすることができました。

災害発生時から、関係者の皆様の協力により、事業が概成となりましたことにお礼を申し上げます。



災害発生時の状況



事業終了後（令和5年12月撮影）

【安曇野市長久保における主な対策内容】

- ・総事業費 約16億円
- ・集水井 9基
- ・暗渠ボーリング 約1,000m
- ・アンカー工 143本
- ・排土、抑え盛土工
- ・流路工

※概成…対策工の効果により、顕著な変動が認められないこと。

【松本地域振興局林務課】

米子採種園（造林の拡大に向けた取組）

採種園は、遺伝的に優れた種子を効率良く多量に生産するために、人為的に特殊な仕立て方を行った、種子採取専用の樹木園です。長野県内では、造林用苗木に使われるスギ、ヒノキ、アカマツ、カラマツの4樹種について、県下9箇所では採種園が設定されています。

米子採種園は、昭和48年度に県内唯一のスギ採種園として須坂市米子地区に設定され、近年は需要の高いカラマツ（特定母樹）やスギ（小花粉及びミニチュア仕立て）の採種園の造成・管理を行っています。

採種園で生産される種子は、遺伝的に優良な形質を持つ種子（少花粉等）として、長野県山林種苗協同組合を通じ苗木生産者が造林用苗木を生産し、各地の造林地に植栽されています。

今後、県内の成熟した森林の主伐が進み再造林も広く行われることが想定されるため、採種園では苗木の質・量の安定供給に向けて、採種作業の効率化と着実な種子生産を目指し、①球果の結実状況の確認、②採種園内及び周辺の草刈り、③着花促進に資する剪定作業やジベレリン散布処理などの作業を適期に実施するなど日々維持管理を行っています。

担当者は、管理業務を通じ採種園に愛着と熱意をもって、真夏にも草刈りを行うなど意欲的に採種園整備に取り組んでいます。



下刈り作業完了



着果促進
（ジベレリン処理）



球果結実状況

【長野地域振興局林務課】



交流を深めた街中ウォークラリー



総合優勝を決めた伐倒競技



みんなで勝ち取った「総合優勝」

【長野県林業大学校】

長野県林業大学校、岐阜県立森林文化アカデミー、京都府立林業大学校では、「将来の林業の担い手となるべく各校で学ぶ学生同士の交流の促進」、「安全作業への意識付け及び、林業技術・知識のより一層の向上」などを目的として、平成26年から各校持ち回り開催で「伐木選手権」を行っています。

今年は、長野県林業大学校がホスト校として、11月16日、11月17日の二日間で開催しました。初日は、各校の学生同士が、木曽町福島町内の史跡や名所を回る「街中ウォークラリー」などで交流し、翌日の「競技会」に向けて大いに盛り上がりました。

二日目の「競技会」は、朝から冷たい雨が降りしきる中での競技になりましたが、そうした荒天を吹き飛ばすかのように、種目ごとに各校の総合順位が目まぐるしく入れ替わる熱戦になりました。最終種目の「伐倒競技」は、各校の選手が自分の持てる技術を尽くした戦いになり、その中で本校の選手が一位となって、逆転で総合優勝するという劇的な決着となりました。

前日の準備から大会の運営、片付けまで大活躍した一年生、最後まであきらめずに競技で戦った二年生全員の力で勝ち取った「総合優勝」でした。

第9回全国林業大学校対抗伐木選手権「開催」 長野県林業大学校が逆転で「総合優勝」



災害に備える森林保険

冬期の積雪による幹折れや雨氷害、春先の森林火災が心配…



火災



風害



水害



雪害



凍害



噴火災



潮害



干害

「森林保険」に加入しておけば安心です

【長野県1ha当たりの代表例】樹種毎の標準的な保険金額と保険料（保険期間：令和6年4月1日～）

契約時 林 齢	年	カラマツ			ヒノキ		
		保険金額 被災時の 受取額 万円	1年分		保険金額 被災時の 受取額 万円	1年分	
			円	円		円	円
1		80	3,168		101	3,999	
2		92	3,532	18,729	119	4,569	25,324
3		108	4,147	割引額 1,717円	144	5,529	割引額 2,366円
4		119	4,569		166	6,374	
5		131	5,030		188	7,219	
26		177	5,540	24,939	299	9,358	42,129
27		177	5,380		299	9,089	
28		177	5,380	割引額 2,121円	299	9,089	割引額 3,585円
29		177	5,380		299	9,089	
30		177	5,380		299	9,089	



森林保険公式キャラクター
たちち



森林保険公式キャラクター
そよりん

保険料の一例です。保険加入は20年生、50年生など、いつでも可能です。
保険加入契約は、1年毎よりも長期割引のある5年分・10年分など一括契約がお得です。

【問い合わせ先：長野県森林組合連合会（TEL 026-226-2504）、またはお近くの各森林組合へ】
＜長野県林務部森林づくり推進課＞



「緑の募金」にご協力ありがとうございました



令和5年の募金額は速報値で約6,900万円になりました。ご寄附いただいた緑の募金は、里山の手入れ、学校・公園等の緑化、みどりの少年団の育成などに活用させていただきました。



長野県植樹祭でみどりの少年団が植樹をしました



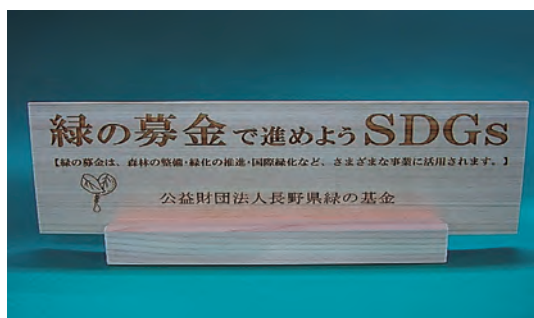
復活を目指している里山で地元住民が探鳥会に参加しました



旧学有林で小学生が間伐を体験しました



荒廃した里山で小学生が伐採木を搬出しました



緑の募金に1万2,000円以上の寄附をいただいた企業様等のうち希望者には、名入れの木製（ヒノキ）プレートを贈呈します。企業名はレーザーで刻印します。また、募金された企業等様の企業名は、当基金で発行しています機関誌や市町村に配布するチラシ、当基金のホームページに掲載しています。



サクラソウが自生する山で小学生が薪割りを行いました



公益財団法人 長野県緑の基金

長野市大字南長野字幅下692-2

長野県庁 林務部森林づくり推進課内

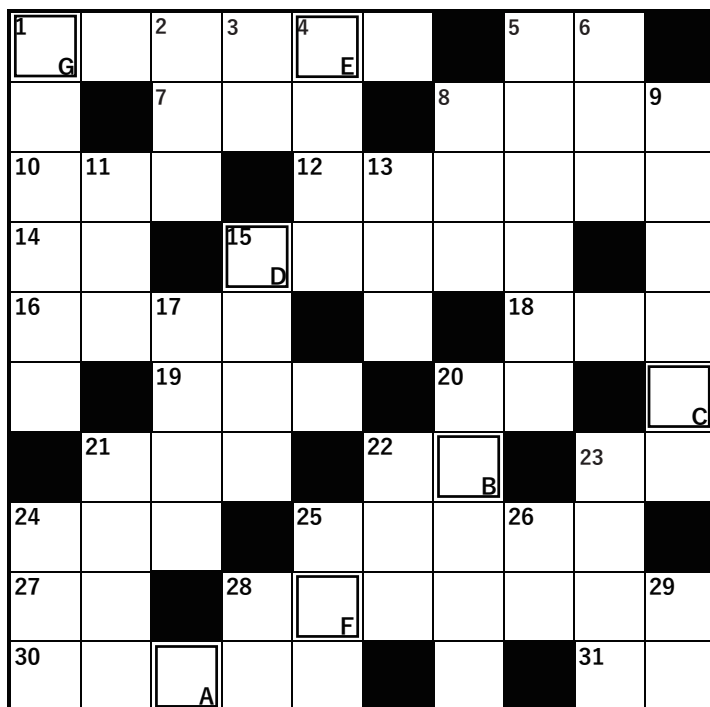
TEL 026-232-0111 (内線4818, 4819)

Eメール green@midori-joho.gr.jp



もり 森林の クロスワードパズル

新春スペシャル企画



キーワードは？

A	B	C	D	E	F	G

ヨコのカギ

- 地理情報システムの略語。
- 今、解いている問題のことです。
- 江戸時代の村役人のこと。関西では「庄屋」と呼ばれます。
- ごちそうの定番。生卵を溶いて出来上がりを待ちましょう。
- 「〇〇〇祭」。京都・八坂神社の祭礼で日本三大祭の一つ。長野県内各地でも開催されます。
- スーパーに並ぶ魚の名前。実は俗称なんです。
- 1950年代にジャマイカで発祥したポピュラー音楽のジャンル。
- 伐倒方向の制御などに使うけん引具。
- 縄文時代からある屋根の作り方。長野県には現役職人さんもいらしゃいます。
- オリンピックでの射撃競技の種目。
- 英語で見ること、眺望の意味。例) ワイド〇〇〇しなの
- ハリギリの別名。

- 三国志における蜀漢の武将。
- 牛や鶏、豚の心臓のこと。
- 鴨がネギを背負って〇〇。
- 草木のめばえ。例) 薪炭林は「〇〇〇更新」で再生する。
- 南アルプスを源流とする天竜川水系の支流の川で、アーチ式コンクリートダムがあります。
- 〇〇も実力のうち。
- 森林の公益的機能の発揮には〇〇〇〇（漢字4文字）の推進が欠かせません。
- 薪材の中に住んでいるカミキリムシの幼虫。またの名をテッポウムシと言い、焼いて食べると美味。
- 盆踊りなどの踊り手のチームのことを指します。

林業用語や長野県にまつわる言葉を集めたクロスワードパズルです。ぜひチャレンジしてみてください！

タテのカギ

- 羊肉を使った長野市信州新町の名物料理。
- 和合の念仏踊りや新野の盆踊り等古くからのお祭りが多く残る、下伊那郡の町。
- 2030年の干支。
- 「〇〇〇消費」。地域の活性化や雇用なども含む、人や社会、環境に配慮した消費行動。
- 下伊那郡高森町の公式キャラクター。
- 短い言葉や仕草などで、滑稽な効果をもたらすお笑いのジャンル。
- 雪上を移動するための器具。テレマーク〇〇〇やアルペン〇〇〇等。
- 長さの単位。約0.621マイル＝1〇〇。
- 諏訪地域にある市で、天竜川源流の水門があります。
- 電話で117番に掛けてみましょう。
- 太陽系第三惑星。
- 熱帯アフリカ原産のマメ科の木材。重硬で美しい赤褐色の柾目から家具材などに使われています。
- 毎年2月3日に行われる行事。善光寺での豆まきが有名です。
- 数えることを英語で？
- 季節に先駆けて出る野菜や魚など。例) カツオの〇〇〇
- 建設工事の地鎮祭や土木工事の起工式で行う儀式。
- チェーンソー作業には〇〇〇ブーツと〇〇〇ズボンを着用しましょう。
- 〇〇〇ステンシー。土壌の含水比によって、土が液状から固体状にまで変化する性質のこと。
- 〇〇ネタに惑わされないようにご用心。
- スマートフォンやタブレットでデータ通信や通話を行う際に必要なICカード。
- 年始のご挨拶のお供に一升〇〇。

抽選で5名様に特製カレンダーをプレゼントいたします！

ハガキまたはメールに、

- ①氏名 ②住所 ③電話番号 ④キーワード
⑤長野の林業の感想

をご記入の上、下記までご応募ください。

(当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。
いただいた個人情報は本目的以外には使用しません。)

<応募締切> 令和6年2月16日(金) 必着

<応募先> 長野県森林組合連合会
〒380-8567 長野県長野市岡田町30-16
長野県林業センタービル3階
E-mail: sido3@naganomoriren.or.jp



令和5年度木材センター記念市

11月13日から15日にかけての3日間、長野県森林組合連合会の各木材センターにて、当会の販売事業の一大イベントである「記念市」が開催されました。多くの出荷者様から優良材をご出品いただき、関係者各位の皆様には厚く御礼申し上げます。

北信木材センターでは、広葉樹材を中心に応札が活発になり、サクラ2.0m（末口50cm）には188,000円/mの値が付きました。販売量は5,920m³となりました。中信木材センターでも広葉樹良材に高値が付き、ナラやクリ等を中心に安定的な需要が伺える結果となりました。また、ヒノキの5〜6mにも活発な応札となり、販売量は5,377m³となりました。伊那木材センターでは、サクラ3.0m2本に200,000円/mの値が付いたのをはじめ、活発な市売りとなり、販売量は1,813m³となりました。

林材業界を賑わせていたウッドショックも収束し、価格、荷動き共に鈍化した市況が続きましたが、各木材センターでの記念市の結果から、長野県の木材への熱い眼差しを改めて感じました。本年も出材のご協力をお願いすると共に、高値での活発な入札のほどよろしく願います。

※裏表紙に記念市の様子を写真付きで紹介しています。

森林病虫獣害防除研修会



▲松枯れ防止燻蒸処理の説明を受ける参加者。激甚地の参加者からは対策についての質問が相次いだ

11月17日、塩尻市の長野県林業総合センターで長野県林業薬剤防除協会主催の「森林病虫獣害防除研修会」が開催され、県内林業関係者88名が参加しました。

前段に長野県林務部森林づくり推進課保安林係 磯尾典寿担当係長から「長野県の森林病虫被害の現状と対策」について、長野県林業総合センター育林部 柳沢賢一研究員から「森林病虫獣害対策の最新情報」について講演があり、午後からは松枯れやナラ枯れ防止樹幹注入剤や燻蒸処理、植栽した苗木を守る獣害忌避剤や保護資材の実技講習が構内林で行われました。

森林の各種病虫獣被害は依然拡大しており、林業薬剤防除協会では健全な森林環境保全のため、研修会や情報提供を継続して行っています。

長野県林業職員協会 林業基本問題研究会 in 茨城県ひたちなか



大型ドローンの実演は隣接の水戸信用金庫スタジアムで行われた



▲会場は広く、半日では回りきれなかった

11月12日から13日にかけて、長野県林業職員協会の林業基本問題研究会が行われました。今回は茨城県ひたちなか市で開催された「森林・林業・環境機械展」を視察し、各支部から支部長及び代議員13名が参加しました。

会場となった笠松運動公園の広大な敷地に、林業機械メーカーや関係団体等79ブースが出展し、素材生産から森林整備、森林計測等の最新技術、アイデア満載の製品やサービスの実演や説明を行っていました。

林業は厳しい自然条件下での人力作業が多く、労働者の軽労化や省力化による作業効率や安全性の向上が課題となっています。こうした問題解決に向け、リモコン運転による自動刈払機や苗木や獣害防除資材を運ぶ、大型ドローンの実演が目立ったほか、主伐・再造林に向けた最新のハーベスタや木材クラッシャー、コンテナ苗用の植栽機や移動式の大型チップパーが注目を浴びていました。全国から集まった大勢の林業関係者に会場の活気を感じるとともに、日曜日の開催となった初日は、迫力ある林業機械に目を輝かせる子供たちの姿が印象的でした。

林業基本問題研究会は新型コロナウイルスの影響で4年振りの県外視察となり、参加者相互での情報交換や懇親を深めることができ、一層有意義な視察となりました。



2024 年 長野県内木材市売日程

飯伊森林組合 木材共販所				長野県森林組合連合会 伊那木材センター 中信木材センター 北信木材センター				木曽官材市売協同組合 本部（製品）荻原（原木）坂下（原木） 国有林土場等活用委託販売（原木）			
初市	初市 ひのき祭り	初市	初市 広葉樹祭り	1 月	初市 第27回全県木材需要拡大対策特別展示大会	初市	初市	初市	初市		
18日（木）	17日（水）	16日（火）	17日（水）		20日（土）	23日（火）	16日（火）	10日（水）			
15日（木）	7日（水）	広葉樹祭り 6日（火）	7日（水）	2 月	特選材市 17日（土）	20日（火）	2日（金） 15日（木）	6日（火）			
15日（金）	6日（水）	5日（火）	6日（水）		特選材市 16日（土）	19日（火）	6日（水） 18日（月）	5日（火）			
18日（木）	春季優良材市 10日（水）	春季優良材市 9日（火）	春季優良材市 10日（水）	4 月	花まつり 第30回全県木材優良品産材展覧会	春季謝恩市 23日（火）	4日（木） 春季謝恩市 25日（木）	16日（火）			
17日（金）	8日（水）	7日（火）	8日（水）		特選材市 18日（土）	21日（火）	14日（火）	8日（水）			
13日（木）	12日（水）	11日（火）	12日（水）	6 月	特選材市 15日（土）	18日（火）	4日（火） 20日（木）	5日（水）			
11日（木）	10日（水）	9日（火）	10日（水）		第57回木材まつり 27日（土）	30日（火）	4日（木） 中元謝恩市 23日（火）	17日（水）			
23日（金）	6日（火）	5日（月）	6日（火）	8 月	特選材市 24日（土）	27日（火）	7日（水） 21日（水）	20日（火）			
19日（木）	11日（水）	10日（火）	11日（水）		特選材市 21日（土）	25日（水）	5日（木） 開設26周年記念市 26日（木）	10日（火）			
17日（木）	9日（水）	8日（火）	9日（水）	10 月	開設57周年記念市 荷主会結成56周年記念市 19日（土）	創立69周年記念市 第40回日本美林まつり 22日（火）	10日（木） 24日（木）	8日（火）			
14日（木）	開設63周年記念市 13日（水）	開設62周年記念市 12日（火）	開設66周年記念市 14日（木）		特選材市 16日（土）	19日（火）	7日（木） 21日（木）	6日（水）			
納市	納市	納市	納市	12 月	納市	納市	納市	納市			
19日（木）	11日（水）	10日（火）	11日（水）		14日（土）	17日（火）	11日（水）	4日（水）			

市売の最新情報については、各事業所にお問い合わせいただくか HP をご覧ください。

市売の最新情報については、各事業所にお問い合わせいただくか HP をご覧ください。



謹賀新年



長野県林業センター

一般社団法人

理事長 藤原 忠彦
副理事長 宮崎 正毅
副理事長 水本 豪
常務理事 宮宣 敏

長野県森林組合連合会

代表理事 会長 藤原 忠彦
副会長 理事 林 幸和
代表理事 専務 高田 弘
常務理事 櫻井 肇

長野県木材協同組合連合会

理事長 宮崎 正毅
副理事長 佐々木 良彦
副理事長 新井 裕
副理事長 松本 昌弘
専務理事 柴田 宗次
事務局 長 松本 昌弘

長野県林業普及協会

一般社団法人

会長 林和弘

長野県林業経営者協会

会長 林和弘

長野県林業労働財団

一般財団法人

理事長 丸山 勝規
役員 一同

長野県林業団体協議会

会長 高田 幸彦
副会長 藤原 忠彦
副会長 宮崎 正毅
副会長 水本 豪

林業・木材製造業労働災害防止協会

支部 長野県支部
支部長 宮崎 正毅
副支部長 中田 裕一郎
幹事 長 柴田 宗次
事務局 長 松本 昌弘

信州木材認証製品センター

理事長 宮崎 正毅
副理事長 鈴木 明彦
副理事長 高田 幸彦
専務理事 松本 昌弘
事務局 長 柴田 宗次

長野県山林種苗協同組合

理事長 神戸 直日
組合員 一同

長野県林業 コンサルタント協会

森林・林業の総合アドバイザー
一般社団法人

理事長 羽田 健一郎

長野県林業 薬剤防除協会

会長 牧司

長野県治山林道協会

会長 羽田 健一郎
役員 一同

長野県造林協会

会長 藤原 忠彦

長野県森林組合長会

会長 林和弘

長野県水源林 造林協議会

会長 白鳥 孝

長野県特用林産振興会

会長 林和弘

長野県林業研究グループ 連絡協議会

会長 田中 忠

長野県林業士会

会長 飯森 幸彦

長野県国有林森林整備協会

会長 由井 正隆
副会長 林井 三弘
専務理事 酒井 省三
長野市稲葉母袋沖六二一
TEL (026) 285-1907
FAX (026) 285-1907



謹賀新年



“自然と共に”

NPO法人 **森林環境**

理事長 湯沢要次

長野県駒ヶ根市経塚七十一
番(〇二六五)八一―四八〇三

農林中央金庫

関東業務部

長野県担当部長 島田博之

南佐久北部森林組合

代表理事 組合長 佐々木 勝

南佐久中部森林組合

代表理事 組合長 黒澤和夫

レストラン
四季の味 樹木里
南佐久南部森林組合

代表理事 組合長 由井明彦

緑を育て山を守る

佐久森林組合

代表理事 組合長 山岸喜昭

役職員一同

緑の担い手

信州上小森林組合

代表理事 組合長 石井公彦

役職員一同

佐久森林林業振興会

役職員一同

上小林業振興会

会長 羽田健一郎

役職員一同

諏訪地域森林づくり
林業振興会

役職員一同

上伊那山林協会

役職員一同

下伊那山林協会

役職員一同

木曽山林協会

会長 大屋 誠

役職員一同

諏訪森林組合

代表理事 組合長 藤森良隆

役職員一同

もりもり上伊那
上伊那森林組合

代表理事 組合長 白鳥 孝

役職員一同

飯伊森林組合

代表理事 組合長 林 吉澤和弘

役職員一同

信州根羽すぎ・根羽ひのき
根羽村森林組合

代表理事 組合長 大久保 憲一

役職員一同

**松本地域森林
林業振興会**

役職員一同

北佐久木材協同組合

理事長 新井 藤弘

組合員一同

事務所
小諸市大字平原四ツ谷原九六七―七
☎(〇二六七)二二―二一〇七
FAX(〇二六七)二四―〇六八三

上小木材協同組合

理事長 小林 基英

組合員一同

上田市芳田一八一―一
☎(〇二六八)三五―一四〇〇



謹賀新年



南安曇木材協同組合

理事長 佐原 良彦
安曇野市穂高七九四〇―一二七
☎(〇二六三) 七二二二二〇〇

飯伊木材協同組合

理事長 澤柳 浩成
事務局 飯田市常盤町三〇
☎(〇二六五) 三三二二二六六

北信木材生産センター協同組合

代表理事 竹下 元治
長野市大字穂保字中ノ配三四二

木曽南部森林組合

代表理事 坂家 重吉
組合長 坂家 重吉
役職員一同

長野森林組合

代表理事 和田 智
組合長 和田 智
役職員一同

瑞穂木材株式会社

木材製材販売・住宅資材販売
代表取締役 宮崎 正毅
下高井郡木島平村大字穂高三二八―一
☎(〇二六九) 八二二二二一八
FAX(〇二六九) 八二二二二一八

宮澤木材産業株式会社

代表取締役 宮澤 遥
長野市中曾根二一八八―一五
☎(〇二六) 三三九一〇五八
FAX(〇二六) 三三九一〇五八
環境事業部
☎(〇二六) 三三九一〇五八
FAX(〇二六) 三三九一〇五八

齋藤木材工業株式会社

ハイグレード集成材 信州唐松丸
代表取締役社長 齋藤 健
〒386-0603
長野県小県郡長和町古町四二九四
TEL(〇二六八) 六八二二二三五
FAX(〇二六八) 六八二二二二二

南木曽町森林組合

代表理事 堀 賢介
組合長 堀 賢介
役職員一同

株式会社 吉本

代表取締役 由井 正隆
南佐久郡佐久穂町大字平林二二二
☎(〇二六七) 八六二二二〇五
FAX(〇二六七) 八六二二二〇五

日本林業土木(株)長野

出張所 長野 両角 実
長野市岡田町三〇―一六
長野県林業センタービル内
☎(〇二六) 二二二二二一八

みどり産業株式会社

代表取締役 篠原 明
本社/長野市大字稲葉二四二二三
長野県林業センタービル内
☎(〇二六) 二二二二二一八
FAX(〇二六) 二二二二二一八

日本森林技術協会

一般社団法人
長野事務所 所長 油井 章次郎
長野市岡田町三〇―一六
☎(〇二六) 二二二二二一八

株式会社 中部森林技術コンサルタンツ

建設コンサルタント
(森林整備・治山・林道環境事業等
森林の総合調査設計)
支店長 長谷川 洋
長野市大字稲葉二四二二三
☎(〇二六) 二二二二二一八

木曽官材市売協同組合

理事長 勝野 智明
長野県木曽郡上松町正島町二四四五
TEL(〇二六四) 五二二二二四八
FAX(〇二六四) 五二二二二四八

松本広域森林組合

代表理事 吉田 満男
組合長 吉田 満男
役職員一同

和合森林組合

代表理事 村澤 博光
組合長 村澤 博光
役職員一同

木曽森林組合

代表理事 原 久仁男
組合長 原 久仁男
役職員一同

信州の木認証合板で 地産地消の緑の循環



針葉樹合板のパイオニア
林ベニヤ産業株式会社

(本社) 06-6228-1401
(七尾工場) 0767-52-4376
(舞鶴工場) 0773-68-0306
(北陸営業所) 0767-52-4376



謹賀新年



北信州森林組合

代表理事 山崎 明
組合長 山崎 明
役員一同

栄村森林組合

代表理事 久保田 道一
組合長 久保田 道一
役員一同

長野地方緑化推進委員会

会長 長山村 弘
役員一同

平澤林産有限公司

立木買取り・生産販売・支障木処理
特殊材注文販売・産業廃棄物処分業
木材森林整備認定事業体
代表取締役 平澤 照雄
長野県伊那市西春近四一〇五番地
TEL (〇二六五) 七八二二二八
FAX (〇二六五) 七六一五七七五

有限会社 高遠興産

素材生産事業、森林整備事業
代表取締役 林 敏行
〒396-0023 長野県伊那市山寺一五五八一
☎ (〇二六五) 九六一〇〇七三
FAX (〇二六五) 七一一八三〇八

一般社団法人

長野県猟友会

会長 長竹 入正一

まつのびよう

グリーンプラマーク取得
松くい虫防除シートは
地球にやさしい
生分解性プラスチック使用の
くん蒸用被覆シート
信濃化学工業株式会社
〒381-0045
長野県長野市桐原1-2-12
TEL 026-243-1115
FAX 026-243-1520

大栄産業株式会社

唐松・杉・桧各種素材丸太・製材品
組建物・看板・加工一般・施工一式
新型インサイジング
(角材及び円柱可能)
防腐加圧処理(ACQ・その他)
※加圧処理は、長さ16.0mまでできます
ウッドレリーフ製作
松本市波田二九五一一三七
☎ (〇二六三) 九二一五〇五一
FAX (〇二六三) 九二一五八〇九
ホームページアドレス <http://www.daiisgy.co.jp>

株式会社 モリレン長野

損害保険代理店
環境事業計画施工・墓石
長野市中御所岡田町三〇一―二六
☎ (〇二六) 二六七二六六三六
FAX (〇二六) 二六六一〇一八二六

株式会社 キーテック

代表取締役社長 中西 宏一
〒136-0082
東京都江東区新木場一七七一―二
TEL (〇三) 五五三三三三三三
<http://www.key-tec.co.jp>

株式会社 酒井工業所

サンドキーパーマット
SN緑化万能マット
カゴ枠・大型カゴ枠・パネルフットン 電
松本市村井町南三丁目一〇番一四号
☎ (〇二六三) 五八二二二〇〇
FAX (〇二六三) 八六一三八八一

東信木材センター 協同組合連合会

カラ松日本一を目指します
小諸市甲字鞍掛四七四七
TEL (〇二六七) 二二一〇八八七
FAX (〇二六七) 二二一〇二九三

北アルプス森林組合

代表理事 割田 俊明
組合長 割田 俊明
役員一同

王滝林業有限公司

素材生産請負・森林整備
立木買付・生産販売
取締役社長 西路 明
木曾郡王滝村四五六三―二
☎ (〇二六四) 四八一三三六三
FAX (〇二六四) 四八一三三八三

オガサワラ林業有限公司

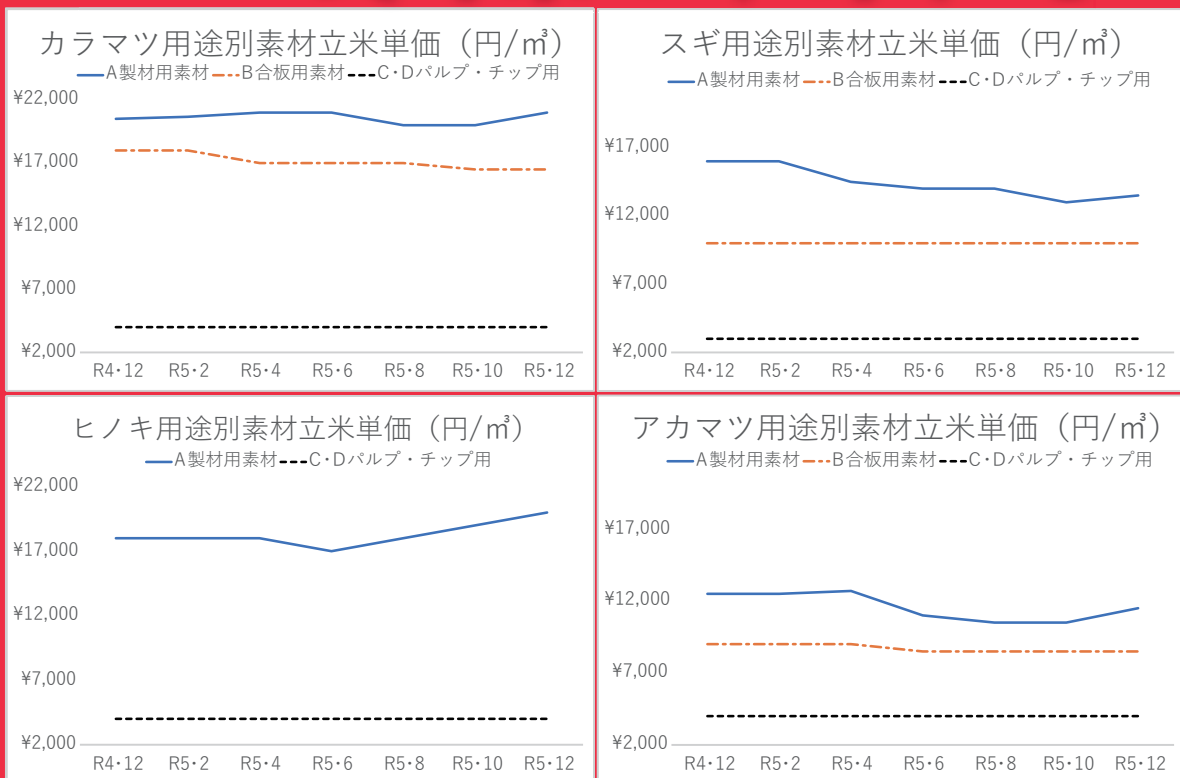
森林整備・素材生産(産廃)収集運搬業
支障木伐採・処理 薪販売
代表取締役 小笠原 稔起
松本市中山四一三五―一四
☎ (〇二六三) 五八一五九三九

東信素材生産事業 協同組合

代表理事 星野 勝好
組合員一同
小諸市大字平原字四ツ谷原九九五―一
☎ (〇二六七) 二二一五〇四五
FAX (〇二六七) 二二一五〇三二



JForest 長野県の木材市況



※北信、中信、伊那木材センターの市況表より作成

令和五年度 記念市



▲ずらりと出品材が並ぶ伊那木材センターの展示の様子



▲伊那木材センターで高値がついた
さくら 3.0m
◀北信木材センターで高値がついた
さくら 2.0～3.0m



多くの優良材のご出品、並びに
高値でのお買い上げをいただき、
誠にありがとうございました。

県森連 HP では市売情報を写真付きで随時更新しております！

最新の市況表もご覧いただけますので、納材や入札の検討にご活用ください！

「長野の林業」のバックナンバーもこちらから♪



長野県森連

